

## 令和2年度行政事業レビューシート(公正取引委員会)

事業名	政府規制・公的制度等に関する検討会議			担当部局	経済取引局	作成責任者			
事業開始年度	昭和55年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	調整課	小室 尚彦			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国における社会・経済情勢の変化を踏まえ、政府規制・公的制度について、競争政策の観点から検討し、必要に応じて提言等を行い、また、各府省における規制の政策評価に当たっての競争評価の内容の向上を図ることで、競争的な市場環境を創出する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	政府規制・公的制度の競争政策の観点からの提言等については、経済法や各分野で知見を有する有識者から意見を聴取するなどして、検討を行う。また、競争評価の在り方については、経済学や規制の政策評価の知見を有する有識者を招いて検討を行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	平成29年度	30年度		令和元年度	2年度	3年度要求		
		当初予算	1	0.9	0.9	1.1	0.8		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	0.1	-	-	-		
	計	1	1	0.9	1.1	0.8			
	執行額	0.2	1	0.4		-			
	執行率(%)	20%	100%	43%		-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	20%	113%	43%		-			
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求		主な増減理由				
	諸謝金	0.3	0.2	諸謝金、委員等旅費及び経済実態等調査費(会議費)について、執行実績を踏まえた見直しにより0.3百万円減額					
	委員等旅費	0.6	0.4						
	経済実態等調査費	0.2	0.2						
	計	1.1	0.8						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-								
定量的な成果目標の 定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と平成29~令和元年度の達成状況・実績				
	政府規制・公的制度等に関する有識者からの意見聴取・検討を中心あり、政策への反映状況について定量的な目標を設定することは困難である。				検討会議の開催を通じて、競争政策の観点から有効かつ適切な提言を得るとともに、競争評価の内容のより一層の向上により、競争的な市場環境を創出することを目指している。 平成29~令和元年度の達成状況・実績については、平成29~令和元年度において、携帯電話分野について公正かつ自由な競争を促進するための環境を整備する観点からの有効かつ適切な提言が得られたほか、競争評価の手法等の検討を行った。				



事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	政府規制・公的制度は、その内容によっては、公正かつ自由な競争を妨げ、市場メカニズムを通じた経済の発展を阻害する場合もある。したがって、既に存在する政府規制・公的制度について競争政策の観点から検討し、必要に応じて提言等を行うこと、また、競争評価の改善を通じ、各府省において規制がもたらす競争への影響を適切に考慮した上で規制が策定されるようにすることは、競争・市場メカニズムを通じた経済の発展に貢献するものであり、国民や社会のニーズに合致している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	公正取引委員会は独立行政委員会であり専門性を有するところ、競争政策の観点から、政府規制・公的制度の見直し等について的確な提言等を行い、その改善等を実現するためには、このような独立性及び専門性が必要であり、地方自治体や民間等に委ねることは適当ではない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	政府規制・公的制度について競争政策の観点から検討を行うには、各分野で知見を有する有識者からの意見聴取及び一堂に会した場での議論が不可欠であり、そのための達成手段として検討会議の開催は必要かつ適切である。また、多岐にわたる規制が日々刻々と変化する中で、競争政策の観点から適宜適切に規制の検討を行うことは、競争政策全体の中で優先度の高い事業といえる。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一 者応札又は一者応募となったものはないか。	有	速記録作成先の選定については、法務省との共同調達(一般競争入札)によっている。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	旅費及び謝金については、規則・統一単価に基づいて支出している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	会員への旅費、謝金及び速記録作成費のみについて支出をしており、必要最小限に限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	令和元年度においては、政府規制・公的制度の競争政策の観点からの提言に関しては、公表までのスケジュールとの関係で検討会議形式ではなく個別の意見聴取によらざるを得なかつた。そのため、関連経費(委員等旅費など)の支出を要しなかつたものである。 なお、競争評価検討会議においてのみ検討会議の形式を探った(通年3回)。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	速記録作成先の選定に当たっては、コスト削減のため法務省との共同調達の手段を用いることにより安価の調達先を確保するよう努めている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	令和元年度において、代替指標の実績(ホームページアクセス件数)は目標値を上回っており、競争的な市場環境の創出に貢献できたと考えられる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	有識者が一堂に会した場で議論を行うこと及び有識者間相互で議論を行うことにより、ある有識者の意見に呼応して別の有識者の意見が引き出されるなど、個別の意見聴取等他の方法に比べて、効果的に意見聴取ができている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	令和元年度において、競争評価検討会議についてのみ見込みを達成している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	検討会議の成果物である提言等は公表し、消費者団体主催の説明会に講師として職員を派遣するなど広く国民に周知することで競争的な市場環境の創出のために活用している。また、競争評価検討会議で得られた意見等については各府省にフィードバックを行うこと等により、競争評価の内容の向上のために活用している。
点検・改善結果	点検結果	令和元年度は上述した理由で検討会議の開催は3回に留まる一方で、競争評価検討会議において有識者を交えて議論をした結果、充実した検討を行うことができた。また、政府規制・公的制度の検討会議の成果は、報告書として公表しているところ、ウェブサイトへも多数アクセスされている。このような取組によって、報告書が広く周知され、競争的な市場環境の創出に役立っていると評価できる。 したがって、引き続き、来年度以降も事業を実施するのが適切である。	
	改善の方向性	引き続き、競争的な環境を創出するため、規制改革が進んでいる分野等について、競争政策の観点から検討を行うよう努める。	

## 外部有識者の所見

点検対象外

### 行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の実行の水準は、年度によってばらつきがみられるので、毎年度一定の水準を保つような改善を図ることが重要と思われる。</li> <li>・実態調査と併せて行う検討会は、当委員会の提言に説得力を持たせるためにも有効に活用すべきである。</li> <li>・引き続き、世間の関心の高いテーマを選定していくことが重要である。</li> <li>・政府規制の在り方については、公取委ではない立場から検討されることが必要である。</li> </ul>
------	---

### 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

縮減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政事業レビュー推進チームの所見どおり、引き続き本事業を継続することが適当と考える。一方で、同推進チームの所見を踏まえ、毎年度安定して実施できるよう検討を進める。</li> <li>・諸謝金、委員等旅費及び経済実態等調査費(会議費)について、執行実績を踏まえた見直しにより0.3百万円減額</li> </ul>
----	---

### 備考

携帯電話分野に関する意見交換会 <https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/kenkyukai/mppm/index.html>

介護分野に関する意見交換会 <https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/kenkyukai/kaigo/index.html>

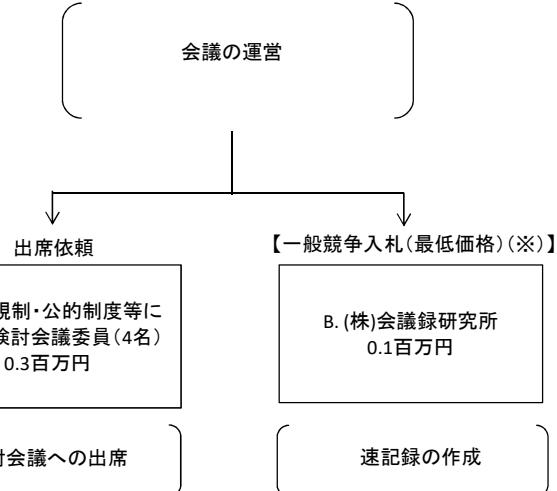
保育分野に関する意見交換会 <https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/kenkyukai/hoiku/index.html>

政府規制等と競争政策に関する研究会 <https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/kenkyukai/kiseiken/index.html>

### 関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	③(7)	平成23年度	⑪	平成24年度	⑥	平成25年度	⑤
平成26年度	⑤	平成27年度	0005	平成28年度	0005	平成29年度	0005
平成30年度	0005						
平成31年度	公正取引委員会 ( 0005 )						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

(※)法務省との共同調達による年間契約

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載			チェック			

### 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 隨 意 契 約 と な つた 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1	個人A		検討会議への出席	0.1				
2	個人B		検討会議への出席	0.1				
3	個人C		検討会議への出席	0				
4	個人D		検討会議への出席	0				

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 隨 意 契 約 と な つた 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1	(株)会議録研究所	6011101004370	速記録の作成	0.1	一般競争契約 (最低価格)	1		